

AJU麦の会&麦の里ニュース

第 115 号 令和二（2020）年 10 月 6 日発行

定価 100 円



麦に植えたトマトの苗、
EMボカシと生ゴミを和えた土で
こんなに大きく育ちました。

発行所・東海身体障害者団体定期刊行物協会

中区丸の内三―六―四三

みこころセンター4F

定価一〇〇円

令和二年

十月六日（毎週火曜日発行）

AJU通巻 第一三九八〇号

昭和五十四年八月一日第三種郵便物承認

～ 8月例会 みんなで水遊び♪～

☆A・Bグループ

水遊びをしたいという企画から、ビニールプールを皆さんからお借りしました。大小合わせると11個も集まり、水風船や、ペットボトルの蓋を重ねて、テープで止めたものをすくう遊びを用意しました。

当日は、ボランティアとして、ボーイスカウトから3人参加してくれました。作業をしていた仲間も、外で楽しそうに水遊びをしている仲間を見て、「やりたい！」と早めに作業を切り上げました。浮き輪を付けて、片手に水鉄砲を持って一緒に水遊びをしましたが、大人も十分に楽しめる程はしゃいでいました。

いつも職員や仲間に意地悪なことを言うてくる仲間は、ここぞとばかりに水鉄砲での集中攻撃を受けていましたが、反撃して水をかけ返すと楽しそうに喜んでいました。

(山口)



☆療護グループ

「みんなで水遊び！」ということで、療護の仲間達もテラスに出て水遊びをしました。水着を着て準備ばっちりのNさんは、プールを見つけるとぐいぐいと職員を押しつけていき、そのままドボン!!気持ちよかったようで、休憩をはさむために出ようと誘っても、「まだ入っていたい！」と立ちたがらず、さらに激しく水をパシャパシャ!水に入った時の表情はとっても幸せそうでした。Tさんは入る前から楽しみな様子で、顔にかかる水にはびっくりしていましたが、水に入った頃には満面の笑み(笑)

水はかけられるよりもみんなにかける方がお気に入りのようでした♥他の仲間たちはというと、それぞれ水に慣れるまでに時差はありましたが、慣れてくると段々と表情が和らいで、身体の方も抜けてきて、それぞれのペースで楽しんでいました♪飛んでくる水に少しだけ構えながらも、みんなで一緒に夏を大満喫できました。

(やな)



～ 9月例会 いろいろ初挑戦！ ～

★フルーツ狩り&水遊び★

仲間の会でやりたいことを話し合ったときに、「フルーツ狩り」の案が出ていました。コロナの中、流行っていた“室内イチゴ狩り”を思い出して、9月の例会は“室内フルーツ狩り”と、前回好評だった水遊びも一緒にすることにしました。

なんのフルーツが食べたい？と仲間に聞くと、イチゴ！桃！！なし！！！！ぶどう！！！！…etc…！！！！季節ではないものもありましたが、便利な世の中！そこは冷凍フルーツでカバー。なるべくお金は掛けたくないなあ～…と思って、スーパーに向かうと、なんということでしょう！！たくさんのフルーツが、お安くなっていました。ありがたい。おかげで、11種類ものフルーツを手に入れることが出来ました。

当日は、午前中から取り組みました。フルーツをカットして、小さな小袋に入れていきます。軽快な包丁さばきを見せている仲間、ノコギリのようにギコギコ包丁を動かして上手にフルーツをカットしていく仲間、ぶどうを一粒一粒、器用にとってザルで洗ってくれる仲間…みんな上手でした！

そして、午後から作業室の飾り付けです。麻ひもを作業室に張りめぐらして、そこに午前にカットしてフルーツの入った小袋をクリップで留めていきます。たくさんのフルーツがぶら下がると、いつもの作業室がパーティ会場のようなようでした。

みんなが揃うとフルーツ狩り開始！！梨ばかり選ぶ、ふなっしー大好きKさん。こっそり約束より多く食べちゃったSさん。みんな思い思いに好きなフルーツを選んで、「おいしいねえ」と言いながら、楽しんでいました。そして、フルーツを楽しんだ後は、思いっきり水遊び!!車椅子の仲間たちも抱っこされてドボン！とても楽しそうでした。全身びしょ濡れになりながら、夏を満喫しました♪

準備など、時間配分がうまくいかずドタバタしてしまう場面もありましたが、また次の機会に生かしたいと思います。

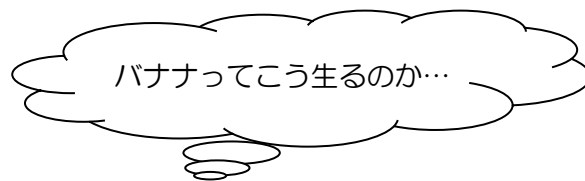
(大下)

★東谷山フルーツパークへお散歩★

東谷山フルーツパークに行ってきました！コロナ渦のなか、フルーツパークにはどれだけの人がいるのかと思っていましたが、休日ということもあり、人もちらほら。しかし開放的な外なのと、日差しもそこまで強くない、のんびり皆さんで散歩しました。

途中芝生で相撲をとったり、みんなでハイビスカスの前で写真を撮ったりと、いつもの散歩の様に楽しませてくれました。外に出るってやっぱり気持ちが良いですね。じんわり汗をかいて、最後は冷たいタオルで体や顔を拭いてサッパリ！早くコロナが終わってもっともっと、気軽にお散歩ができるといいなあ、、、

フルーツ狩りはできませんでしたが、リンゴやバナナ等のフルーツの成長を見てきたお散歩でした！



(イワンコフ)



★わいわいバザー★

「療護のみんなでバザーがしたい」と始まったこの企画。考え始めた当初は、まだコロナも大変にはなっていない時期でした。当日が近づくにつれて、大変な状況になっていきました。中止も考えざるを得ない状況でしたが、皆様のご協力とコロナ対策を万全にすることで、無事に開催することができました。心配事が尽きない中、次は台風で当日辺りはずっと雨予想…ならばと、事前にみんなでてるてる坊主を作ることにしました。色紙をちぎっているうちに、それまで雨が降っていたのに、見事に晴れて、効果絶大！でも、早く作りすぎると意味がないかもしれないと思い、前日にも作ると、当日はいい天気の日になりました。みんなの思いを込めたかいがありました。

いざ当日。このご時世の為、七色の麦のご近所の方と麦の里の関係者にしかお知らせをすることができなかったので、お客さんがみえるのか朝からドキドキでした…。それでも、予想に反してオープンになる前からお客さんが待っていて下さり、一安心。接客をしているうちに、お客さんがどんどんと見え、近所の方や保護者の方、職員、懐かしい人たちなど、いつしか会場にはたくさんの方がみえました。仲間たちもいろんな人に会うことができ、びっくりしたり喜んだりしている仲間もいれば、ドーンと構えすぎて寝ている仲間も（笑）お母さんたちが買ったパンやアイスをこっそり楽しんでいる仲間もいましたが、それぞれ思い思いに接客を頑張りました。バザーの目玉は療護の仲間達で作ったアイス。キャッチボール形式で作ったアイスは、「美味しい！」と、レシピを聞かれるほどの出来で、早々に完売！パン工房で作ったパンやクッキーも、仲間たちがとても張り切って作り、机に並びきらないほどの数でしたが、あっという間に完売。ゲームコーナーには職員の皆様のご協力で、お菓子やお米が当たるひもくじ。お子さんも大人の方も、目当ての商品が当たるまで…と真剣な顔でチャレンジ。

こんなときにバザーをしていいのかと、とても悩みましたが、皆さんの楽しそうな笑顔、「いっぱい買っちゃった」と言いつつも満足げな顔を見る事ができたり、「久しぶりのこういうのを待ってた」、「また楽しみにしているね」と言ってもらえることができたりと、今では開催出来て良かったと思っています。

ご協力して下さった沢山の皆様、本当に、本当にありがとうございました！

(やな)



～七色の麦の日常～

☆ かき氷大会 ☆

七色の麦、青色の麦合同でかき氷大会をしました。少し前からシロップを決めたり準備をしてみんな楽しみにしていた様子でした。

当日、七色の麦に集まり、仲間の会を七色、青色で別れてしてから開会式、開会の宣言をYさんとSさんがしてくれていました。開会式が終わってからはみんななかき氷機の前に並んだり椅子に座って順番待ち、職員も慣れていなかったのが氷が割れたりうまく削れなかったりで少し手間取ってしまいましたが、仲間に器を持ってもらい、少しでも氷を感じてもらえるようにがんばりました！

かなり粗目なかき氷で職員はドキドキでしたが「おいしい！」と仲間のみんなが言ってくれて職員一同ほっとしました。

今年は少し遅めなかき氷でしたが来年は暑い真夏の日にみんなでやりたいと思います。

(たら)



☆ 青色の麦の日常 ☆

4月入社から5ヶ月がたち、8月より青麦での遅番を週1で勤務することになりました。

初めは仲間と一緒に風呂に入ったり青麦での生活の中で僕を受け入れてくれるだろうか、楽しみより不安が大きかったです。

しかし、いざ勤務する中で仲間との夜の時間では、トランプして遊んだりテレビを観て一緒に笑ったり

と楽しいことがたくさんありました。また、仲間は「北村さん今度いつ来るの」「今日来るから一緒にトランプをしたいと思っていた」等優しく受け入れてくれました。

今後も仲間が「一緒に楽しみたい、居ると安心する」と思ってもらえるように青麦での時間を大切に頑張っていけたらと思っています。

(トランプ遊びではMさん北村コンビでNさんに真剣勝負を挑んでいます)

(北村)



～ 麦のコロナ対策 ～

麦の里で行っている感染対策

- 1、30分おきに5分間の換気を実施
30分おきに館内放送で換気をお願いしています。
- 2、来訪者の検温を実施
来訪された方に対し、非接触体温計により検温を実施しています。
これまでに、37度以上の来訪者はいませんでした。
- 3、マスクの着用
- 4、手指消毒
- 5、館内の消毒
毎日仲間が帰宅した後に車いす、手すり、取っ手、椅子などの消毒を行っています。



法人麦における感染予防の備蓄品

- ・アルコール
- ・消毒液
- ・マスク
- ・プラスチック手袋
- ・ガウン
- ・フェイスガード
- ・キャップ

★各施設

- ・抗菌消臭剤 を購入しましたので、順次散布します。
- ・オゾン発生機オースリークリア3 を購入し、無人環境下で除菌・消臭します。(10月中旬に納品予定)

★送迎車両

- ・プラズマクラスターイオン発生機を送迎車両8台に順次設置しました。
- ・新幹線や公共バスで使用されている3か月間効果のある抗菌・消臭剤を散布します。
- ・抗菌・ウイルス除去・消臭効果のあるスプレーで、毎日ドアノブ、手すり、シートなどを拭取り清掃します。

その他の感染対策（各施設）

- ・定期的な新型コロナウイルス対応状況チェックリスト（施設サービス版・通所系サービス版）の活用。
- ・「高齢者介護施設における感染症対策マニュアル（改訂版）」を参考にした感染症対策の実施
および周知。
- ・各職員への注意喚起。
- ・外出時、外作業における仲間・職員の人数制限等を行っています。



プラズマクラスターイオン発生機

※下記の文面は麦の里・七色の麦で働く職員に配布したものです。

コロナ禍における職員の心構え・行動規範について

新型コロナウイルス感染防止対策について、ご協力ありがとうございます。

8月24日愛知県に出されていた第2次緊急事態宣言は解除されました。

解除されたといっても、新型コロナウイルスのワクチンや特效薬が開発されたわけでもなく、感染がストップしている状況でもありませんので、引き続き感染予防対策の徹底は必要です。

そこで、第二次緊急事態宣言解除後における当法人職員としての心構え、行動規範を下記の通りまとめましたので、引き続き感染防止に努めていただきますようお願いいたします。

なお、利用者・家族に対しては別紙の通り4月24日付で通知しておりますが、改めて開所継続方針と注意喚起をすることとしておりますので申し添えます。

記

1、新型コロナウイルス感染について、過大な表現等により不安を煽ることはしない。

- ①身近で感染者情報を得たときは、事実を理事長・施設長・副施設長・主任のいずれか（以下理事長等）に報告し、仲間や職員に過大に吹聴するなど、いたずらに不安を掻き立てるような行動は慎むこと。
- ②仲間や職員に熱がある場合や身近で濃厚接触者が出た時は理事長等に速やかに報告し、感染者が出るかもしれないなどとむやみに騒がない事。
- ③熱等の諸症状がなければ、合理的理由がない限り「感染者」のような扱いはしない事。
- ④感染した方は被害者であり、労りが必要な方です。誹謗中傷し差別するようなことはあってはなりません。

2、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底

別紙4月24日付利用者・家族あて通知の1について徹底してください。

- ①3密を避ける。 ②検温の実施。 ③手指消毒。 ④マスクの着用。

3、県外をまたぐ旅行・研修・会議等は理事長等に事前に報告すること。

- ①県外への旅行等はなるべく避ける事。

- ②県内であっても旅行等される場合は、理事長等に事前に報告すること。

感染状況次第では、旅行等の中止要請または帰宅後の体調報告を義務付け、出勤について相談させていただきます。（過剰な対応、差別的な対応は取りません。）

- ③不要不急の外出は避ける事。特に感染防止を怠っている場所は避けること。

4、体調不良の場合

37.5度以上の場合は、理事長等に連絡し出勤停止してください。体調が悪いときは速やかに受診し医師の指示を受けてください。結果を速やかに理事長等へ報告してください。家族など濃厚接触者に症状がある場合も上記に準じた行動をとってください。



仲間紹介

さくらいとしあき
桜井敏明さん

早くにお父様が病気で亡くなり、お母様と2人、20年以上、自宅で内職をしながら生活していました。1993年頃、40代半、家で何もすることが無い敏明さんのことを苦にして、お母様が麦の里へ相談されたのが、きっかけです。

小さくてよく笑う、そっくりなお母様は、敏明さんのことを「トシさん」と呼び、「麦の里の皆さんが、居てもいいよ。と言ってくれたら、トシさんも通えるけれど、皆さんが来んでもいい。と言われたら通えんから。仕事を間違えないように、一生懸命働かないかんよ。」「嫌なことも我慢しないと、イカンよ。」と、諭すように繰り返し、その度に「うん。分かっとるで。」「間違えんようにやるでな」と頷いていました。

敏明さんは、字が読めません。書くのも、自分の名前を平仮名で書くのが精一杯で、いつも一文字多くなってしまいます。新聞の顔写真など切り抜いたりして、世間の話題に自分なりに興味を表して、職員や仲間に話題を提供しています。

そして、最初は無口で人前では話さない仲間でしたが、色々な方に励まされ、質問され、口数も増え、人と接する自信も付けました。その当時「ボカシネットワーク」で頑張っていた可児の奥村会長は、そんな敏明さんの仕事ぶりを認めてくれ、いつも暖かく声を掛けて下さった方の1人です。

50代～60代半ばでは、甥、そして、同居するようになった姉の娘の子守として、麦の里を休む事が続き、殆ど来られない時代が長くありました。

そしてまた、お母様が高齢で歩きにくくなり、1人にする事が難しくなった時も、お姉様が働いていたので、敏明さんが麦の里を休んで、お母様と過ごしていました。

どんな時も、会いに行くと、「ごめんの」と私たち職員に謝り、書いた絵を見せてくれました。そして、「駿君（甥）が、言うことかんで、（自分が）居らんとあかんで。」「（お母様が）まあ、歩けなくなってまったで〜。」と、言葉は少ないけれど、しっかりとした眼差しと口調で話してくれました。

最近膝の痛みで歩行が辛そうなきも居眠りも増えたけれど、それでも“大丈夫”と言って励んでいます。毎日お仕事を頑張っています。吉本新喜劇や相撲が大好きで毎週欠かさずに見ては真似や、冗談を言って笑わせてくれます。

昨年、お母様が亡くなられてから、ホームに入る話もありましたが、「お姉さんと2人でやっていくで」と、本人の決断と意志がなるべく続けられるように精一杯支援しながら見守っていきたくです。

最後にどんな人になりたいか尋ねると、「若く見られたいでな」との返事が返ってきました。お年寄りではなく、“大先輩の敏明さん”と私たちは、今日も麦の里で元気に働いています。



新人職員紹介

あ ぼ う ふ み な お
安 保 文 直 さん

4月から麦の里、七色の麦では働いています。今では夜勤の1番の戦力であり、週4日入っています。まだ慣れていないこともあるからか、最初のうちは眠れない日々が続いたことも（笑）出身は岐阜県中津川市、1時間ほどの道のりを越えて麦の里へ。現在はご両親と弟さんと犬一匹で実家暮らし。休みの日は趣味で飼っているのメダカと戯れることや、優しいイメージと違って大好きなものは、敵を銃などで倒すFPS、一日中楽しんでいるそうです。

アメリカに33歳の時に2年半語学留学へ行った経験もあり、好きな場所はアメリカのユタ州。留学に行ったものの、日本人が多く、結局日本人と一緒に過ごしてしまったと苦笑い。それでも英語は話せないけど老後はアメリカに住みたいと笑顔で話す。

若かりし頃は、パティシエを目指していたそうですが体調を悪くし断念。その後はずっと工場でも働いていましたが、50歳になる前に大病を患い、「死ぬかもしれない」と思ったこと、今まで自分の好きなようにハチャメチャに生きてきたから今後は「人のために生きたい」「福祉の仕事をするなら今しかない」と思って転職を決意しインターネットの求人で見つけて、応募。

優しい笑顔と丁寧に相手に接する姿が素敵で、何をするにもとても紳士的。知識が豊富で、農業にも詳しく、以前にはコケ玉を作ってくださり、バザーでは可愛いと大人気でした！男性陣の憧れの的の安保さんですが、意外と「一番に逃げてしまうタイプなので」…と「沈みゆく船でも一番最後に救助を待てるような人間になりたい」とのこと（笑）

「働き始めて大変なことも沢山あるけど仲間の笑顔を見ると癒され、頑張れる。」と意気込みを語ってくれました。



梨をたくさん食べて大満足♪



新人職員紹介

よしながゆうこ
吉永有子さん

4月から麦の里のパート職員として働いています。生まれも育ちも瀬戸市。働きに名古屋に出たものの、子育てのために瀬戸市に戻ったとのこと。5人家族で、今は2人の息子さんの野球に付き合ひ、休日はもっぱら野球の際や応援。今は毎日の仕事や家事、育児に追われて、自分のことに時間が使えず、“ストレス発散方法”を調べたこともあるほど(笑)ただ、人より“よく寝る”そうで、どんなところでも寝ることができるそうで、パワーを回復。今は忙しくてなかなか行けないが、昔は家族で旅行も行って、子どもたちが大きくなったら“温泉に行って、のんびりすること”。“将来的にはMY畑を作って、自給自足の生活をする事”。もしかしたら、将来的には野菜が高騰するかもしれないからと、「孫に採れたての野菜を食べさせてあげたい」と楽しみにしているそうです。将来はまずのんびりとして…と言いつつもやりたいことが溢れていました。

“母はたくましい”という言葉がお似合ひで、お子さん同士のケンカも「武器を使おうとしたら止める」けど、それ以外は自由にケンカもOKというおおらかぶり。麦の里では、以前から働いていたかのように馴染んでいます。本人曰く、「せっかちだけど、どんくさい」とのことですが、そんなことはなく、ちゃきちゃきと素早い動きで、仲間と一緒に豪快に笑う素敵な姿が印象的です。



お礼のコーナー

〈敬称略 順不同〉

◆◆麦の会の会員・賛助会員になっていただきました◆◆

会員更新：古謝忍 岩切翼

賛助会員更新：和田貴美子

◆◆社会福祉法人麦 及び 施設麦の里へ寄付金&物品をいただきました◆◆

梶田鉦子 アクシス 明治安田生命瀬戸店 渡邊照予 職員有志一同 匿名希望

◆◆マスクの寄贈をいただきました◆◆

きょうされん (Tik Tok 助成事業)

◆◆わいわいバザーのお礼◆◆

久しぶりにバザーを主催するにあたって、多くの方々に御協力をいただきました。ひもくじのあたり景品はすべて寄付によりまかなわれました。不用品や日用品もいただいたものを出品させていただきました。コロナ対策の意味もあって、縫製ボランティアの黄色いエプロンズさんたちには布製マスクを大増産していただきました。

また、中品野の地域の方、ご近所の方々からあたたかい対応をいただいて、あらためて、多くの方々の好意と理解のうえに施設が成り立っていることを痛感しました。

ありがとうございました。

—お詫びとお断り—

賛助会員の申し込み、バザー用品、また寄付金などのご協力を頂いた方については、事務処理の都合上掲載が次号になる場合があります。申し訳ございませんが、御了承下さい。(9月10日現在)

アグネスコラム

ソーシャルディスタンス、3密…

コロナが流行してから、ニュースでよく見聞きする言葉です。

世間一般から見れば、私たちは対策をとっていないように思われることもあるかもしれません。

この仕事をしていると、排泄・食事・入浴などの介助をする場面、仲間と仕事をする場面、どこを切り取っても常に仲間と一緒にいます。

その中でも「仲間と生きていく」ために、できる限りの対策をとって、活動をしています。



マスクット
狩りだー！

グループホームのサポーター募集!

仕事内容 : 清掃・その他

勤務時間 : 例) 8:00~10:00

仕事内容や勤務時間については、応相談!

私たちと一緒に働きませんか?



今後の予定

10月10日 麦の会 定例会

11日 イエローシートキャンペーン

16日 せと福祉マルシェ

24日 麦の会 役員会

27日 北山地区廃品回収予定

11月 1日 成人を祝う会

11日 イエローシートキャンペーン

12日 麦の里 1日活動日

8日 山口ふれあい朝市出店未定

24日 北山地区廃品回収予定

28日 麦の会 役員会

やすらぎ会館 木曜日 開催日

コロナウイルスの影響により、

10月は中止、11月は未定

※ 変更になる場合もあります。

会場

住所: 愛知県瀬戸市川端町1-31

電話: 0561-84-2011

パン、炭、EMボカシ等仲間と販売しています。
是非仲間たちに会いにきてくださいね。

☆冬の物資の販売お願い☆

2020年冬の物資販売が始まります!

10月14日にチラシ配送予定のため、
ただいま準備中です。

コロナ対策でバザー活動がほとんどない
中で、力を入れて販売します。

皆さまご協力お願いします!!

障害者とともに歩む 麦の会
生活介護事業 麦の里
共同生活援助事業 七色の麦

〒480-1214 愛知県瀬戸市上品野町1354-12

電話(0561)41-4124/FAX(0561)41-3766

ホームページ: <https://www.mugisato.or.jp/>

Mail : nakamanowa@mugisato.or.jp

編・集・後・記

今回の機関紙は、8月例会で夏らしく
プールを出して遊んだことや9月の
例会でわいわいバザーを開いた事を
載せています。 (たら)